

チベットの「いま」を伝えるドキュメンタリー

LEAVING FEAR BEHIND 恐怖を乗り越えて

Official Website : www.leavingfearbehind.com



2008年、チベット。20人のチベット人がカメラの前で恐れることなく本当の気持ちを語った。映像は極秘にチベットから持ち出され、撮影した青年と僧侶は中国政府に逮捕された——北京五輪に沸き立つ中国の裏側で、チベット人は何を思い生きているのかを伝える証言映像。



2007年10月から2008年3月にかけて、チベット東北部アムド地方在住の農民トンドゥブ・ワンチェン(34歳)と僧侶ジグメ・ギャツォ(39歳)の2人が、チベット各地で極秘にインタビュー取材したVTRを、トンドゥブの従兄弟であるスイス在住のギャルジョン・ツェリンが編集し、25分のネットムービーとして公開した。チベット語原題は「Jigdrel(ジグデル)」(=恐怖を乗り越える)。日々の社会的抑圧や政治的迫害を感じながら生活するチベット本土のチベット人が、北京五輪についてどう感じているのか、置かれている政治的状況をどうに考えているのか、強制移住や中国政府による資源収奪や教育・文化面での抑圧の実態を、「恐怖を乗り越えて」カメラの前で赤裸々に語った、チベットの「いま」を伝える貴重なインタビュー映像である。

取材した2人は2008年3月にラサからチベット各地に広がった騒乱の直後、相次いで逮捕された。ジグメ・ギャツォは過酷な拷問と虐待の後に2008年10月15日に仮釈放されたものの、現在も厳しい監視下に置かれている。トンドゥブ・ワンチェンの行方はいまもわかっておらず、政治的な理由から拘束されている多くのチベット人とともに安否が懸念されている。

LEAVING FEAR BEHIND「恐怖を乗り越えて」国内初上映会

Students for a Free TIBET Japan (SFT 日本) は、チベットの人権状況改善を求めるアピールの一環として、「LEAVING FEAR BEHIND(恐怖を乗り越えて)」の上映会を行います。Filming for Tibet(スイス)の協力で SFT 日本が日本語訳と字幕制作を行ったもので、今回が国内初上映となります。

2008/12/6 SAT 19:00~

場 所 : 大久保地域センター 4階多目的ホール
東京都新宿区大久保 2-12-7

ゲスト : ダライラマ法王日本代表部事務所代表
ラクパ・ツォコ氏

参加費 : 1,000円 / 定員 : 100名

お申込 : sft_jp_move@yahoo.co.jp (SFT 日本事務局)

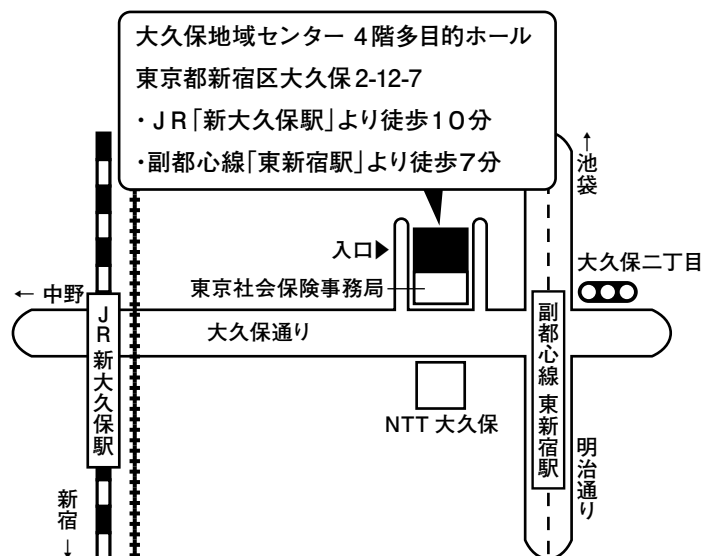
■参加ご予約以外のお問合せ : sftjapan2008@gmail.com

■主催 : Students for a Free TIBET Japan (SFT 日本)

<http://www.sftjapan.org/>

■協力 : (社)アムネスティ・インターナショナル日本・チベットチーム

<http://www.geocities.jp/aijptibet/>



STUDENTS FOR A FREE TIBET JAPAN
スチューデント フォー フリーチベット ジャパン